

SOCIAL INNOVATION SUMMIT 2015

ソーシャル・イノベーション・サミット2015
12/17(THU)・18(FRI)

SOCIAL
INNOVATION
LABORATORY
KYOTO

京都市ソーシャルイノベーション研究所

全国初！！

自治体主催のソーシャル・イノベーション・サミット

12/17 (THU)

概要

定員400名 参加費:無料
会場:同志社大学今出川校地 寒梅館 <http://www.doshisha.ac.jp/kambaikan/>

オープニング

13:00-13:30

開会挨拶: 今川晃(同志社大学政策学部長)
成果発表: 同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター
今里滋/新川達郎

第1部

13:30-16:00

シンポジウム「ソーシャル・イノベーションによる地方創生」
門川大作(京都市長)
井上英之(慶應義塾大学大学院 特別招聘准教授/一般社団法人 INNO-Lab International 共同代表/
京都市ソーシャルイノベーション研究所アドバイザー)
大室悦賀(京都産業大学経営学部 教授/京都市ソーシャルイノベーション研究所 所長)

3自治体による事例発表
新庄市/仙台市/倉敷市

第2部

16:00-18:00

ワークショップ「地方創生とソーシャル・イノベーション実現のためのアイデア形成」
企画進行: 西村勇哉(NPO法人ミラツク代表理事)

交流会

18:30-20:30

定員100名 ※予約先着順 参加費:3,500円
会場:同志社大学 寒梅館 1F アマーク・ド・パラディ寒梅館

12/18 (FRI)

プログラム

10:00-12:00

社会(化)見学 ～Social Change Studies in KYOTO～
定員20名～100名 ※各コース予約制 参加費:1,000円
1.風伝館コース…定員20名
2.KYOCAコース…定員100名
3.京都市ソーシャルプロダクトマップコース…定員30名

お申込

・京都市ホームページから <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000189097.html>
・京都市ソーシャルイノベーション研究所ホームページから <http://www.social-innovation.kyoto.jp/>
※1日目のみのご参加も可能です。申込先着順のため、定員に達し次第締切らせていただきます。

主催 | 京都市/京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)
共催 | 同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター/NPO法人ミラツク
後援 | 同志社大学総合政策科学研究科

お問合せ | 京都市産業観光局商工部中小企業振興課(担当:仲筋、小林)
TEL:075-222-3329 FAX:075-222-3331 MAIL:chushokigyo@city.kyoto.lg.jp
※最新情報は京都市ソーシャルイノベーション研究所ホームページでお知らせします。



DAY 1

12月17日(木) 同志社大学今出川校地 寒梅館

オープニング

13:00-13:10

開会挨拶

今川晃 同志社大学政策学部長

13:10-13:30

成果発表

同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター

第1部 シンポジウム

13:30-14:50

ソーシャル・イノベーションによる地方創生

様々なセクターが垣根を越えて繋がり合いながら、
ソーシャル・イノベーションを創出する未来について意見交換を行います。

15:00-16:00

3自治体による事例発表

[新庄市/仙台市/倉敷市]

門川 大作 | DAISAKU KADOKAWA

京都市長

市民と共に汗する「共汗」と市民の視点に立った政策の「融合」をキーワードに、全国のモデルとなる市政改革を進める。2011年度から京都市ソーシャルビジネス支援事業をスタートさせ、2014年12月に「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」を発表。ソーシャルビジネスの立ち上げを支援する取組を本格的に展開するため、京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業として事業を再編した。



大室 悦賀 | NOBUYOSHI OHMURO

京都産業大学経営学部 教授

京都市ソーシャルイノベーション研究 所長

著書:『ソーシャル・イノベーション』『ソーシャル・ビジネス:地域の課題をビジネスで解決する』『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』『ソーシャル・エンタープライズ』『NPOと事業』など。社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・ビジネスをベースにNPOなどのサードセクター、企業セクター、行政セクターの3つのセクターを研究対象として、全国各地を飛び回り、アドバイスや講演を行っている。



DAY 2

12月18日(金) 各会場

社会(化)見学 ~Social Change Studies in KYOTO~

経営者と対話できる“学びの場”。リーダーの決意、その企業で働いている人々の笑顔、製品やサービスの質の高さを感じ、理念型経営を学んでいただくのが「社会(化)見学」です。

1. 風伝館コース

日本を代表する社会的企業アミタグループから学ぶ
自然資本と人間関係資本の増幅による持続可能社会の実現について

10:00-12:00 定員 20名 参加費:1,000円 場所|京都市上京区室町通丸太町上る大門町 253 風伝館

ゲスト 熊野 英介 | EISUKE KUMANO

アミタホールディングス株式会社 代表取締役

新庄市 住民と共に創りあげる農村を活性化するソーシャル・プロジェクト kitokito MARCHE

3自治体による事例発表

仙台市 “仕事を通じて地域や社会に貢献する起業”その増加を実現させる支援とは

倉敷市 自治体×自治体でイノベーションをおこす～高梁川流域連携の取り組み～

第2部

ワークショップ

16:00-18:00

地方創生とソーシャル・イノベーション 実現のためのアイデア形成

ワークショップ 1

「地方創生のためのソーシャル・イノベーション」に
取り組む実践者の課題をもとに、
マルチセクターによる意見交換の場を設けます。

ワークショップ 2

ソーシャルデザインの考え方に基づいた
「地方創生のためのソーシャル・イノベーション」をテーマに、
全国の事例を交えた概論のレクチャーと
アイデア形成ワークショップを実施します。

西村 勇哉 | YUYA NISHIMURA

NPO 法人ミラツク 代表理事

大阪大学大学院にて人間科学(HumanScience)の修士を取得。人材育成企業、財団法人日本生産性本部を経て、2008年より開始したダイアログBARの活動を前身に2011年にNPO法人ミラツクを設立。

Emerging Future we already have(既にある未来を手にする)をテーマに、社会起業家、企業、NPO、行政、大学など異なる立場の人たちが加わる、セクターを超えたソーシャルイノベーションのプラットフォームづくりと、企業が社会課題を基盤に社会と共に行う事業創出、事業コンセプトデザインに取り組む。



ミラツクのワークショップの様子

交流会

18:30-20:30 ※定員100名 ※予約先着順

参加費3,500円 会場:同志社大学 寒梅館 1F アマーク・ド・パラディ寒梅館

2. KYOCAコース

食をコンセプトとしたリノベ施設KYOCAと 産官学民ビジネス共創プロジェクトRELEASE;について

10:00-12:00 定員 100名 参加費:1,000円 場所|京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA 3F hacoba

ゲスト 岡村 充泰 | MITSUYASU OKAMURA

株式会社ウエダ本社 代表取締役社長

桜井 肖典 | YUKINORI SAKURAI

一般社団法人オープン・ガーデン 代表理事

3. 京都市ソーシャルプロダクトマップコース

良い社会づくりへの消費参加を可能にする ソーシャルプロダクトの調査とマップの作り方について

10:00-12:00 定員 30名 参加費:1,000円 場所|京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA 3F サロン

ゲスト 前田 展広 | NOBUHIRO MAEDA

京都市ソーシャルイノベーション研究所 イノベーションコーディネーター